

# オヤジが巻きモノを必要とする理由とは？

本特集では、これは！と思う巻きモノを大フッシュしてきましたが  
ここでは改めてオヤジと巻きモノの相性について、服飾史家の  
中野香織さんにお話を伺いました。オヤジは巻きモノが似合う？上手な  
巻きモノとの付き合い方とは？など、気になる内容がてんこ盛りです！



**ま**ず、歴史的に、巻く、というこ  
とを振り返ってみると、思い浮  
かぶのが19世紀初頭のダンディズム、  
ポー・ブランメルです。彼はネクタイ  
の前身であるネッククロスを常に巻い  
ていたのですが、それは姿勢をきれい  
に保つ必要もあつたからなのです。さら  
にルネッサンス期まで遡ると、戦場に行  
く時には首からゴージにかけて、プ  
レートの間をつけた紳士の肖像画も見  
られます。首を守るといふことはもち  
ろんですが、固定していたのは人に命  
令する立場の人だから。何か指示を下  
しても、首が座らないようでは部下も  
信用できませんよね。だから貴族たち  
は威厳を保つためにも、ネッククロス  
を巻いて屹然とした佇まいを保ってい  
たのです。そういう意味では現代にお  
けるネクタイと同義といえるでしょう。

る。初心者は巻く前に振つ  
たり、折りたたむなど、重  
ねておく立体感を作りや  
すいとも言っていましたよ。  
それに巻きモノは、コートや  
ジャケットを買うより、ヘアスタイル  
を変えるより、一枚巻くだけでイメ  
ジを変えてくれる、手軽なツールとも  
いえます。そして、たまにはトゥーマ  
ツちな柄に挑戦したりすると、それが  
会話のネタになることだってあるかも  
しれませんよね。それでコミュニケーション  
ションが取れるならお安いもの。LE  
ONの読者のような方々には、自分で  
巻いていたものを女性が寒そうにし  
ていたら、ふわっと掛けてあげるとい  
う。差し上げる、という前提で。

巻くモノは、あくまでもフアッシュヨ  
ンを楽しむ道具ですから、遊びである  
と同時に余裕の証。あたかも無造作に  
一発で巻けるまでは、あのポー・ブラ  
ンメルでさえ、山のように失敗したネ  
ッククロスを積み上げていたのですか  
ら、とにかく巻き続けることが、無造  
作風を身につける唯一の方法なので  
はないでしょうか。巻き続けているう  
ちに、自分の雰囲気やバランスに見合  
った巻き方が見つかるはず。それを探  
求しているシリアスな姿は、人に見せ  
ないほうがいいと思いますが(笑)。

## Let's Play Putting a Stole Around Your Shoulders !!



Profile

中野香織

エッセイスト、服飾史家。東京大学大学院修了。  
英国ケンブリッジ大学客員研究員などを経て、  
文筆業に。著書に「モードとエロスと資本」(集英社新書)、  
「ダンディズムの系譜 男が憧れた男たち」(新潮社)など  
著書多数。www.kaori-nakano.com